



思えば悪夢のようなあの戦争中戦争遂行のために、濫伐に濫伐を重ねた山林、そして敗戦後残されたものは、荒廃した都市と、はげ上がった山肌であった。

あれから20数年、赤土のむき出した山肌も、いつしか緑におおわれ、秋の実りも、史上最大の豊作とうたわれることも耳新しいことではないほど、豊かな国土になりつつある。

戦後、国土復興のため、国をあげて緑の遍開が設けられ、造林コンクールや、野も山も庭も緑に埋めようとする緑化推進運動が毎年行なわれるようになった。

当朝日町においてもその例外ではなく、たしかな記録は見つからないが、昭和33年、本県において国体が開催されたが、そのとき当町小丸山グラウンドにおいて、その国体の一部である準硬式野球大会が行なわれることになったので、当町はそれを記念して、その年の4月に、1戸1本植樹運動として、はじめて第1回の苗木即売会を行なったのである。

第11回を迎えた

苗木即売会

それ以来、毎年4月1日前後に、この有意義な苗木即売会が開催され、年を追って人気を呼び、近年は開会後数時間を経ずして、目ぼしいものが売り切れる程のにぎわ

いを見せるようになった。

最近では、朝日町内の庭木造成業者などがこれに賛助し、果樹苗木、花卉、観葉植物の外、盆栽や松、ラカン樹など大型植物までが出品され、さながら庭木苗木市の観を呈し、はては各家庭の庭園造成への関心を刺激するようなどころまできている。しかし、それはそれでよいとして、本年は、富山県が緑化推進運動実施模範県として、5月26日砺波市頼成において、天皇をお迎えして第20回全国植樹祭が行なわれることになっていることでもあり、ねがわくは、この催しを、鬼遠祭りの夜店の庭木販売と同一視することなく、緑化運動としての苗木即売会であるという、本来の趣旨を忘れて貰いたくないものである。

(編集委員 間部善治)

城山開き

異常に長かったことしの冬も春分の日が過ぎてからはめっきり春らしくなり、今や野山の樹々も一斉に芽吹き、文字どおり春らんまんの景を呈しています

朝日町観光協会と朝日町商工会の共催により、五月一日、城山頂上にある脇子八幡宮奥の宮において城山開きの祭典を行ないます。

祭典終了後は、ありし日の昔を忍び、今を語り、更に観光地城山の発展を語り、それを祈りたいと思います。

なおその頃は、わらび、ぜんまい、とらせ、その他の山菜狩りも盛んな頃ですから、一般の方の多数参加を期待します。

日時 五月一日午後一時三〇分〜三時三〇分

場所 城山頂上 脇子八幡宮奥の宮

(雨天の場合、城山休憩所及び城山頂上古城園)

参加申し込み

朝日町商工会 ☎②三三〇

朝日町観光協会 ☎②二〇〇

会費 一人 二百円

朝日町観光協会  
朝日町商工会

# 第一回町議会定例会に提出された 昭和四十四年度予算案と その他の案件について

## 提案理由

朝日町長

昭和四十四年第一回町議会定例会にあり、昭和四十四年度一般会計予算案など予算案十三件、ならびにこれに関連する諸条例の改正案、その他諸案件を提出してご審議をわずらわすにあたりまして、その提案理由、および所信の一端をのべてさせていただきます。

拡大する世界経済と驚異的な科学技術の進歩、協調と相克、流動と固執が交錯するこんにちの複雑な国際情勢は、まことに予断を許さないものがあり、わが国も、好むと好まざるにかかわらず、このような国際情勢に対する参加度をましてきていくことはいうまでもありません。

かえりみて、わが国の経済は、昭和四十一年以降の三年間において、実質年率は一二ないし一三%という極めて高い成長を遂げたのでありますが、本年はやや鈍化する見通しを含みながらも、拡大基調はなお、九五%を下らないと予測されており、一方、消費者物価の上昇傾向は依然として根強いものがあり、その動向は、国民生活に重大な影響を及ぼすものと考えられます。

政府は、四十四年の経済運営にあたっては、「物価の安定に重点をおきつつ、内外情勢の変化に対応する経済の機動性に留意することにより均衡のとれた経済の発展をはかる」とともに、長期的視野にたつて、経済の効率化と国民生活の質的向上に「一層の前進をはかる」ことを基本とす

るといふ態度を示しております。そしてこのような見地から昭和四十四年度政府予算について、①財政規模の適度化、②所得税、住民税の減税、③一般会計の公債依存度の引き下げ、④総合予算主義の四方針が予算編成の骨子となっております。

わが朝日町は、このような政府方針を背景としながらも、町としての特殊性を充分に考慮に入れながら、昭和四十四年度に対処していかねばならないことはいうまでもありません。すなわち、

第一には、積雪、寒冷、急傾斜の自然条件であります。できるだけこれらの条件を克服し、地の利を生かす方途を最大限に求めていかなければならないという点であります。

第二には、いわゆる過疎のことは表わされる人口の漸減であり、この問題は、多くの要素から組みあわされた、日本の全土を通じての一大潮流であり、一町の力をもってしては容易に解決し得ないのであります。これが打開には、さらに一段と町政上の留意が必要であります。

第三には、財政収入の伸びなやみであり、しかも、当面増強の見通しのないまま、社会資本充実の遅れをとりもどさねばならないという要請であります。

町財政の収支尻のみをとらえて好転をうんぬんすることは許されないのであります。その内容に立ち入るとき、万全を期しながらも、なお果たし得ないうらみを強く感ずるの

以上のような見地に立ち、深く意を用い、工夫をこらして、いささかなりとも、町勢の進展に寄与すべく努力する考えであります。まず、議案第一号、一般会計予算案について説明いたします。

四十四年度は、昨年に引き続き、総合予算主義によって、一般会計の予算案をたてました。わが町の自主財源の伸びは少なく、昭和三十一年当時の財政力指数が〇・七〇三を示していたのにくらべ、年々低下を続け、四十三年には〇・四三八にまで低下しました。しかもこの傾向は、依然として、今後も楽観を許さないものであります。このように、財源依存率の多いわが朝日町にあっては、政府のいような意味における総合予算主義は、もともと無理なのであります。慣行的な予算修正をできるだけ排除する原則にたつて、歳入歳出それぞれ五一三、一七四千円といたしました。

歳入につきましては、町税一六九、六九四千円と一・四%の伸びをはかるとともに、地方交付税を二、〇〇〇千円、すなわち前年比三七、九%の増を見込み、また自動車取得税交付金、交通安全対策特別交付金を平年度化し満度に計上しました。減税補てん償の通減を考慮に入れたらうえ、小計三二、七〇〇千円、この他に国県の支出金、小計一〇六、二二五千円、さらにその他を加えて歳入合計五一三、一七四千円となります。

歳出につきましては、これもまた(イ)できるだけ補正をしないという原則にたち、(ロ)事業費の大幅増加、(ハ)物価の上昇による維持補修費、および人件費の増加、(ニ)病院会計、国保会計への繰出金の当初予算化、(ホ)昨年準じて人件費の補正見込分の予算化、(ヘ)土地改良事業等に関する借

務負担行為の増額をはかりました。以上のような諸点を勘案のうえ、次のような四つの方針にもとづいて、歳出予算案を編成したもので、これについて説明いたします。

## 第一の方針は人間尊重であります。

(一)、保健衛生事業の一步前進として、各種検診事業の継続のほか、健康づくり運動モデル地区をさらに一地域拡充する経費をみしました。今年度からは、新しい試みとして、全保育園児、全就学児童生徒のインフルエンザ予防、寄生虫検便に要する経費、および、未就学児全員に対する、日本脳炎予防接種料の全額を町費で負担することにし、さらにまた、全就学児童生徒の日本脳炎予防接種については、その半額を町費で負担することいたしました。

この新規分の小計は一、一七七千円でありました。また、泊病院の公営企業会計への償還元金相当分の繰出金を当初において見込んでおります。(二)、生活環境の改善としては、害虫駆除などのほか、本年は不燃焼物捨場の用地を獲得するとともに、じんかい収集車を購入し、一段と環境改善の強化をはかる考えであります。(三)、交通安全対策としては、通学歩道の表示、道路照明灯の新設、公衆自転車置場の設置を行ないます。(四)、社会福祉の充実のため、老人福祉費、および身体障害者関係の経費の増額をはかるとともに、いわゆるポーターライン世帯の保護のための予算を計上しました。

また、就学することもできないような重症心身障害児童のため、年額一人一万円を支給することを新設し、今後も続けたいと考えております。

(四)、青少年の健全育成のための青年学級、さらに婦人学級、家庭教育学級を開設し、また、青少年問題協議会関係については、四十三年度の予算を倍増し、前年度に引き続きモデル地区の県指定を受けました。

(五)、昨年は西部保育所の新設策をみましたが、今年度は、老朽、かつ不便になっている桜町保育所の改築をするため、八、二七二千円を見込みました。わが町における保育所の充足率は五二%となり、極めて高くなりつつあり、従って国県の補助ないし起債に関しては、安易に認められるとは予期できません。しかし、地元との協力をも得て、実現させるよう努力する考えであります。

## 第二の方針は教育振興であります。

(一)、学校教育については、教材用品、消耗品費を増額計上し、教育設備の充実にあわせ、父兄負担軽減の一助といたしました。また、小、中学校生の体位向上に応じた机、いすの更新を継続するとともに、本年を期して、三カ年計画をもつて、学校校舎の外装整備に着手いたします。理科教育センターについては、理科教育振興の必要性にかんがみ、自動車を購入して、機動力を強化する措置をはかりました。学校安全会負担金や内地留學制度についても、それぞれ物価の上昇に応じ、増額計上いたしております。

なお、泊小学校グラウンドについては、その面積三、三〇〇平方メートルを目標として用地を取得し、これを整備することに、児童の体力向上に資したい考えであります。(二)、社会教育に関する本年の重点としては、公民館の新築事業であり、したが、これに関する経費としては、予

# あ さ ひ

定地の山崎地区に全面的な協力を期待しております。なお、観光にも若干関連いたしますが、宮崎城跡三の丸の用地を県費の補助を得て買取するため、四〇〇千円を計上しました。

(三) 体育については、町民の健康づくりの趣旨にのっとり、従来のスポーツ教室のほかには、婦人球技大会を開き、さらに本年度からは、地区スポーツ振興奨励費一〇〇千円を新設して、地域ぐるみのスポーツをすすめていきたいと考えております。また本年は町民体育大会の開催年度にあたるので、そのための経費を計上いたしました。

## 第三の方針は社会開発であります。

(一) わが町は、地方道の改良舗装に關して、かなりの遅れをみていることは、申しあげるまでもないところであります。一般町道に關しては、従来は、年度の途中で財源をみつ、これによって処置する場合は、多かったのでありますが、本年は、一般町道の改良舗装費を大幅に計上することによって、より有効な投資を期しております。

また、県の山村振興融資にかかる町道改良事業費一〇、〇〇〇千円を予定しました。以上は、すべて町単独事業であります。山村振興法の適用により、笹川の神向橋の改築をも計画いたしました。

都市計画街路事業も、引き続き国庫補助を見込んで計上しました。県道舗装についても、県の投資に呼応して、積極的に受け入れていく考えであります。

新たに、中小河川維持補修費を若干見込みましたが、これは主として、放置された小河川の末端補修であります。

(二) 消防設備の充実については、早期消火を主眼として、小型ポンプの購入、貯水槽および消火栓の設置の経費を見込んでおります。

(三) 常備消防力の強化にあわせ、救急事業を新たに設置したいと考えております。交通事故や救急事態がひん発し、むしろ、それが増加の一途をたどりつつある現状に対処するため、救急自動車一台を購入し、またその要員の増化をはかりたいのであります。

## 第四の方針は経済開発であります。

(一) 農業については、今日の稲作がおかれています状況にかんがみ、チェーンリッブ生産近代化など、近代化施設の導入を助長するとともに、後継者対策、病害虫対策を継続し、あわせて、転換期に当面する農業のために、農家経営、労働力のための調査的ないし試験的な事業を組み込みました。また、僅少ではありますが、機械オペレーターの養成にも補助を出して奨励したいと考えてあります。

ほ場整備事業については、計画進行中の団体営分には、事業量のわくの確保に努力するとともに、振興山村の特別開発事業として、採択になる分に関する促進助成の措置を講じなければなりません。なお、団体営業事業に關する補助については、長期融資の中で負担することにいたしたいので、この分は債務負担行為に計上してあります。また、いわゆる補助対象にならない単独事業のかん排事業等については、ほ場整備の計画に入らない小規模地ないし、傾斜地を重点として実施すべきであると考慮しております。

とくに本年は、山村振興法適用の第一年次にあたりますため、かん排

事業、農道改良については、従来にくらべて、かなり有利な事業が実施し得るので、この点については、各事業主体におかれて、鋭意協力一致して推進にあたっていただきたいと存じます。

(二) 畜産業については、家畜疾病予病対策を継続するとともに、乳用牛、肉牛を大幅に導入するため四三〇千円を計上し、さらに新規事業として、里山草地造成事業の補助、および畜産公害対策についての補助を計上することにいたしました。また、家畜診療所に対する繰出金は四〇〇千円を増額しました。

(三) 林業については、本年度は林業構造改善事業の第二年度になりますので、林道笹入谷線、常福寺線、中山線の三線に着手し、あわせて各種近代化と合理化に対し、計二六、一七千円をあてて、方途を講ずるものであります。

新規事業としては、山村特開事業として、林道湯上谷線を計上し、また、全国植樹祭を記念し、町営造林一畝を実施することにいたしております。

## 第五の方針は環境整備であります。

(四) 水産業については、浅海増殖事業の継続のほか、県の「育てる漁業の方針」にそって、くるまえびの試験養殖に対し、町費負担を計上いたしました。

なお、従来数次にわたり、県営宮崎漁港の整備が進められてきました。が、今般四十四年度から、全国第四次整備計画の策定がなされ、同港がこれに該当することになりました。これは堤防ならびに内港の拡充などを含め、計画事業費計九九、〇〇〇千円の五カ年計画であります。初年度として七、五〇〇万円の事業が見込まれ、わが町としても、地元協力をととも、これに即応すべき負担分は、債務負担行為として措置する

あります。

予定であります。

(四) 商工業については、主として技能者養成、および小規模事業委託料を増額するとともに、中小企業対策、利子補給をもちかり、商工祭などに若干の補給をみることにいたしました。

(五) 観光については、昨年度に続き、城山県定公園の整備を進めることを重点としました。このため一、五〇〇千円を計上し、本丸近辺の美化などを実施します。なお、新しい試みとして、同公園のなかに野鳥類を飼育するため、若干の施設費をみました。

以上は人間尊重、教育振興、社会開発、経済開発の、それぞれの分野における予算案の概要を、事業費補助費を中心として申し述べたものであります。

このほかに、義務的経費などを合計しますと、歳出は都合五三三、一七四千円になり、予算規模といたしましては、四十三年度にくらべ、二八・二%拡大となります。

しかしながら、これは、前述のように、当初見込みその財源を最大限に充当し、総合予算主義を強化することによって、できるだけ年間を見通し、効果的な運用をはかろうとするための措置であり、従って、この規模の拡大は、必ずしも年間の最終的な意味における拡大に一致するものではありません。そういう意味で、近年よくいわれておりますように、慢性化しつつある財政の硬直に、対処しながら、安定指向への努力を怠らないようにいたしたいと考えてあります。

次に、当面する課題として配慮すべき点について申しあげたいと存じます。

第一は電源開発の促進についてで

## 第六の方針は長年の宿願であります。

長年の宿願であります。このことについては、各位の懸命のご尽力をたまりながら、いまだに状況が複雑なまま時を経ておりますことは、まことに憂慮にたえません。しかしながら、事態は全く停滞しているわけではないのでありまして、今後とも全町民の熱意と、広域的な地域開発の理念を基盤として、近隣の理解を深めながら前進しなければならぬと存じます。

第二は山村振興計画の運営についてであります。

本年を期して、山崎、南保、宮崎境の四地区が、山村振興法による振興山村の指定をうけました。

本計画は四カ年計画でありまして、かねて、実施ないしは促進してきまされた林業構造改善事業、県営かん排事業、団体営ほ場整備事業、漁港建設事業の大規模事業のほとんどが含まれるとともに、砂防、治山、河川、道路、その他の公共事業も含まれるので、その実施にあたっては、事業の現実的な適否、あるいは財政状況などを勘案しながら慎重に運営していきたいと考えてあります。

第三は行政の生産性向上についてであります。

従来とも、職員については、専門技術および現業部門を重点として、行政水準を高めるとともに、いわゆる事務部門については、できるだけ資質の向上によって、人員をカバーするように留意してまいりましたが、本年もこの方針で進みたいと考えてあります。

引き続き昭和四十四年度朝日町国民健康保険特別会計予算の説明をいたします。

近年の著しい保険給付費の増大に伴い、この負担に要する経費として、

歳入歳出とも一、二一、八一三千元となつたものであります。

療養給付費のみについても一〇九、〇三〇円と見込まれ、前年にくらべ一七%の増でありますので、保険税の増徴もやむを得ない状況であります。一般会計から当初六、〇〇〇千円の繰入れを行ないますが、なお保険税は四九、六三三、四四〇千円、前年にくらべ一三・六%の増を見込みました。

昭和四十四年度朝日町立泊病院事業会計予算案については、公営企業法財務規定の適用により、業務の予定量、収益および資本に関する収支などを中心とする予算案であります。

(一)、収益的収入および支出は、病院事業の損益計算を予定するものであります。

(イ) 医業に關する収益としては二、三、四、二、八八千円を予定しました。この医業収益をあげるために必要な経費すなわち医業費用としては二、一五、三、六四、四、九二、四、九二千円が予定されますので、差引き一、八、九二、四、九二千円の医業利益が残ることになります。

(ロ) 医業外収益、すなわち泊病院事業に關する付随的な収益については一般会計から繰入金八、九五〇千円を充当しました。一方、これに対応する医業外費用、すなわち支払利息などとして二、二二七千円が必要であります。

従つて、この面について、差引き一、八、九二、四、九二千円の不足が予想されるのでありますが、なお一段と医師の獲得に努め、今後とも総合病院としての充実のために一段と努力する考えであります。

以上をもちまして、上程諸案件に關する提案趣旨の概略を申し述べ、あわせて所懐の一端を付言した次第であります。

## 昭和44年度朝日町予算

### 一般会計

(歳入)				(歳出)					
款	項	予算額	構成比	前年対比	款	項	予算額	構成比	前年対比
1. 町	税	169,694	33.0%	11.4%	1. 議	会	15,635	3.0%	24.1%
	1. 町民資産動員税	70,032	13.6%	15.9%		2. 総務	15,635	3.0%	24.1%
	2. 固定資産税	63,862	12.4%	10.0%		1. 議	78,634	15.3%	12.8%
	3. 軽自動車税	3,860	0.8%	14.9%		2. 総務	53,240	10.4%	9.6%
	4. 電料	16,362	3.2%	0.4%		1. 総務	18,663	3.6%	23.7%
	5. 木材	9,582	1.9%	13.9%		2. 徴税	4,773	0.9%	24.0%
	6. 水	231	—	—		3. 戸籍	1,024	0.2%	38.6%
	7. 入利	1,700	0.3%	1.0%		4. 選挙	745	0.2%	89.1%
	8. 水	4,065	0.8%	4.2%		5. 統制	189	—	19.6%
2. 自動車取得税交付金		6,600	1.3%	—	3. 民	生	74,716	14.6%	16.2%
	1. 自動車取得税交付金	6,600	1.3%	—		1. 社会	14,234	2.8%	54.1%
3. 地方交付税		142,000	27.7%	37.9%		2. 児童	60,470	11.8%	9.9%
	1. 地方交付税	142,000	27.7%	37.9%		3. 災害	12	—	9.1%
4. 交通安全対策特別交付金		300	0.1%	—	4. 衛	生	30,172	5.9%	72.0%
	1. 交通安全対策特別交付金	300	0.1%	—		1. 保健	14,882	2.9%	192.6%
5. 分担金及負担金		38,923	7.6%	12.0%		2. 清掃	15,290	3.0%	22.7%
	1. 分担金	17,887	3.5%	15.5%	5. 労	働	14,859	2.9%	6.8%
	2. 負担金	21,036	4.1%	9.2%		1. 失業	13,741	2.7%	6.3%
6. 使用料及手数料		8,804	1.7%	30.1%		2. 労働	1,118	0.2%	13.3%
	1. 使手	1,902	0.4%	6.9%	6. 農	林	79,901	15.6%	16.4%
	2. 手	6,902	1.3%	46.1%		1. 農業	27,016	5.3%	9.1%
7. 国庫支出金		62,346	12.2%	26.3%		2. 農林	48,449	9.4%	37.9%
	1. 国庫	23,127	4.5%	10.2%		3. 水産	4,436	0.9%	18.0%
	2. 国庫	36,773	7.2%	43.0%	7. 商	工	5,373	1.0%	6.1%
	3. 国庫	2,446	0.5%	8.4%		1. 商	5,375	1.0%	6.1%
8. 県支出金		43,879	8.5%	34.2%	8. 土	木	53,799	10.5%	90.4%
	1. 県	3,589	0.7%	10.7%		1. 土	5,349	1.0%	36.0%
	2. 県	37,193	7.2%	39.4%		2. 道	37,909	7.4%	222.8%
	3. 県	3,097	0.6%	11.5%		3. 河	606	0.1%	1.0%
9. 財産収入		12	—	9.1%		4. 都	9,697	1.9%	17.1%
	1. 財産	12	—	—		5. 住	238	0.1%	10.9%
10. 寄付金		5,856	1.1%	212.7%	9. 消	防	16,940	3.3%	14.3%
	1. 寄	5,856	1.1%	212.7%		1. 消	16,940	3.3%	14.3%
11. 繰越金		1	—	—	10. 教	育	90,898	17.7%	58.2%
	1. 繰	1	—	—		1. 教	8,799	1.7%	13.3%
12. 諸収入		2,059	0.4%	41.7%		2. 小	38,805	7.6%	42.5%
	1. 延	100	—	100.0%		3. 中	17,390	3.4%	21.3%
	2. 町	300	0.1%	50.0%		4. 社	23,103	4.5%	61.1%
	3. 雑	1,659	0.3%	37.9%		5. 保	2,801	0.5%	157.2%
13. 町債		32,700	6.4%	82.7%	11. 災	害	2,130	0.4%	73.0%
	1. 町	32,700	6.4%	82.7%		1. 農	2,130	0.4%	73.0%
歳入合計		513,174	100.0%	28.2%	12. 公	債	37,510	7.3%	8.4%
						1. 公	37,510	7.3%	8.4%
					13. 諸	支	1	—	—
						1. 普	1	—	—
					14. 予	備	12,606	2.5%	10.1%
						1. 予	12,606	2.5%	10.1%
					歳出合計		513,174	100.0%	28.2%

### 特別会計

項	目	予算額	項	目	予算額
国	定	121,813千円	家	所	1,493千円
簡	定	29,052	畜	致	300
南	道	4,394	工	計	255,122
泊	水	1,820	泊	會	414,197
	水	203	病	計	
	用		院		
	用		事		
	水		業		
	水		會		
	水		計		

# 交通事故をなくしよう!!

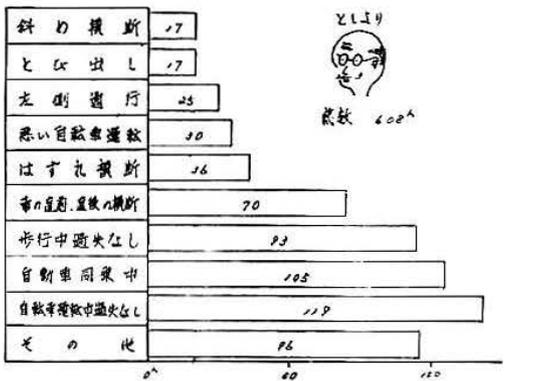
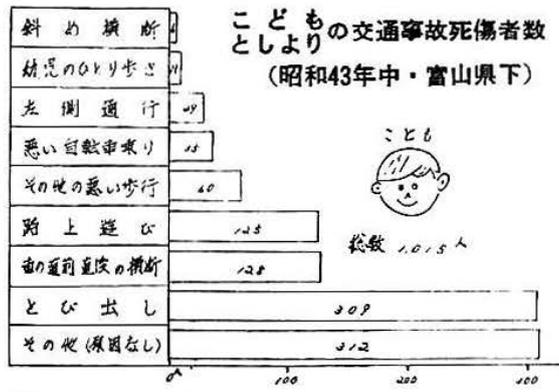
四月一日から三十日まで

## 子どもと老人を 交通事故から守る運動

子どもと老人を交通  
事故から守る運動が行  
なわれています。

◆急停車 されてもよい距離  
よい速度  
◆規がまず 手本を示そう  
正しい横断  
◆みんな歩いているときも  
一人ひとりが よく注意  
(朝日町交通対策協議会)

交通安全に対する心構えを、日々新  
たにして、交通事故を防止しよう



# 国民年金

今月は  
保険料の  
整理月間

国民年金の保険料は、毎月、ある  
いは三ヵ月ごとに担当地区の年金委  
員さんが集金しておられるところ  
と、役場の窓口と農協で納める人が  
いますが、まだ納めていない人もか  
なり見受けられます。四月は四十二  
年度中の保険料を納める最終の月で  
すから、この際もう一度納め忘れは  
ないかどうか確かめて、納め忘れた  
保険料があるときは、今すぐ納めま  
しょう。  
(民生課)

### 終りに近づいた

### 引揚者特別交付金請求

引揚者等の特別交付金請求手続き  
は、昭和四十二年十月から受け付し  
ていますが、請求期間もあと一年に  
せまりました。

引揚者の大部分の方々には国債を  
お渡ししてありますが、引揚者であ  
りながら、まだ請求の手続きをして  
おられない方も多くありますので、  
早目に請求手続きをされるようお知  
らせします。

また、引揚事実(在外事実)や手  
続き上の問題で困っておられる方  
は、役場民生課へご連絡ください。  
(民生課)

身体障害者私鉄(バス)  
運賃割引証が変更

身体障害者私鉄運賃割引制度で、  
四月一日から「バス割引証」が廃止  
され、手帳の提示のみで割引される  
ことになりました。また、介護者を  
要する者でバス定期券(三割引)を  
購入する場合は、従来の「電車割引  
証」を使用することになりました。  
なお、電車及び国鉄の割引証は従  
前のとおりです。  
(民生課)

### 郵便局だより

郵便物の大きさの  
最少限がわかりました

昭和四十一年七月の郵便法改正の  
際、過渡的措置として認められてい  
た小型の封筒やはがきの使用期限が  
昭和四十三年十二月末日で切れま  
したのでご注意ください。  
(民生課)

### ダイヤル市外通話のできる

### 大型赤でんわを架設

◎大型赤でんわが架設にな  
りました。

次の店の赤でんわから  
ダイヤル市外通話ができ  
ることになりました。

泊病院売店及び看護婦詰所  
島田デパート、石田雑貨店  
野田デパート

### 電話局だより

◎大型赤でんわが架設にな  
りました。

次の店の赤でんわから  
ダイヤル市外通話ができ  
ることになりました。

泊病院売店及び看護婦詰所  
島田デパート、石田雑貨店  
野田デパート

郵便物として差し出せる大きさの  
最少限は、長さ一四cm、幅九cmです  
(泊郵便局)



今月の税金は  
固定資産税 一期分  
健康保険税 一期分  
軽自動車税 一期分 です

### 寄付

富山新聞社朝日支局長双川和夫氏  
から、このほど亡くなられたご母堂  
様の香典の一部をさいて、金五千円  
を教育費にとご寄贈いただきました  
ご厚志に対し紙上を借りて深くお礼  
申しあげます。  
(教育委員会)

(朝日電報電話局)

特集

# 明治100年を語る座談会

△その五△

## コレラ・チフスの大流行

### — 医療・保健の今昔 —

司会

農業の発展の  
草野

あとを振り返つてみますと、用水の問題や品種の改良のことなど、農民の方が非常に苦勞してこられたわけですが、そんなことなどに関連して泊の歴史を調べてみますと、明治の初年からずうっと、悪性の疫病が非常に流行しまして、特にコレラが大流行しているんです。

当時の医療の施設や技術も相当遅れていたと思うんですが、ここに草野隆太郎さんがおいでになって、当時の施設や、それらの裏話などありま

したらお話ししていただけませんか  
そうですね、明治十八年には瘧疾、十九年にはコレラが流行して、県下では一万七、八千人の人が死んでい  
それから、明治二十年、二十一年にはチフスが流行し、二十五年には天然痘、二十八年にはまたコレラが流行するといったぐあいでした。  
私がまだ医者になる前のことで、私がまた医者になる前のことで、私が、私もやられたんですが、大正二年頃に泊町にチフスが流行し、私の父や、中川寛治さんのおとうさん、小沢善四郎さんなどもこれにやられなくなりまして。中川寛治さんの家も私の家も、一家全部チフスにかかりましてね。あれは大体三週間くらいで直るんですが、二週間目がい

いうやつなんですね。私は医者になつてからあれは先行性腹膜炎だなどとかわかったのですが……(笑い)

そのとき高橋先生はね、いまから思うと全くおかしいんですが、そのときは、「痛いのは少し止まりますけども」といって、血止めの薬だといつて飲ませておられましたよ。  
殺さんように、大事な人だから、というわけなんです。(笑い)

それから「盥をきれいに洗って水を少し入れてください」と言われて、薬を一瓶それに入れてとかし、注射をされましたが、実はそれがモルヒネを入れてとかしておられたんですよ。  
あの時分にはまだそんなものでしたからね。(笑い) 私が十三才のときでしたが、それから二、三時間ぐらいたつてから父は死にましたからね。

伝染病はみんな  
熱病々という病名  
昭和になりました、二年頃に境の村だけに天然痘が流行しましたね。私が医者になって三、四年目くらいでしたが、天然痘なんてどんな病気か、標本は見たことはあるんですけど、ブツブツができて、まきびのようになるもんだと思っていたんです。(笑い)今でもその家の前を通ると思い出すんですが、そのとき境の村へ往診したんですが、その家のおやしが、火がついたようになって

て頭へのぼったというので、縁の下の床張りをめくって、どんどん水をかけているんです(笑い)  
ッこりゃ熱病じゃぞクというわけです。むこうの方では病名はもう聞かんもので、とにかく熱病だと言えればそれで納得するんです。(笑い)  
当時の庶民は病気に對する知識はその程度のもので、だから腸チフスも熱病、何でも熱病、わからんものはみな熱病だというわけです。(笑い)  
ッこりゃむつかしいぞクといつておったんですが、それが二日間自分で熱が下がって直ったんです。「先生ののおかげで直りました」というわけですが、どうして直ったのやらわからんです。(笑い)

そのうちに、隣の家にまた出たというんです。それもまた、熱病だと言っておいたんですが、ところがこんどは、いつのまにか私がやられたんです。(笑い)ひどい熱でね、二日ほど正気がなかったですよ。その頃、沖豆さんが開業しておられたので、それに屋間になると多少正気もついたもんだから沖さんに診てもらったんです。ところが沖さんも私と同じで(笑い)、「こりゃ熱病だ、肺炎になるかも知れん」というわけで、金沢まで酸素をとりに行ったりして、それを枕元において、息が苦しくなったら酸素を入れんならんぞ」といわれて、やっとなんですが、肺炎どころか、実は私も天然痘にか

かっていました。(笑い)  
それで寝ているうちに、ブツブツと異物がでているんです。これは種痘をやっていた関係で軽くてすみまし

た。私が寝ている間にまだ天然痘が広がって、小さい、生まれてまだ種痘を受けていない子供がどんどんかかって、こんどはほんとうにまきびみたいになっていました。(笑い)  
全身すきまなく異物ができて、だれが見ても天然痘だということがわかるようなものです。  
それからやっとなつていったんですが、私がほとんど直って、家で遊んでいるのに、「これはまだ、保菌者だから隔離病舎へ入ってもらわんならん」というんです。(笑い)

### 腸チフス大流行で

#### 隔離病舎が満員

チフスは、私が医者になってからちょいちょい出ておりますけれど、ひどかったのは一回ぐらいいましたか、二回というより連続だったと思うんですが、泊と宮崎がいちばんひどかったんです。  
泊の方は私がほとんど診ていたんですが、大変なもので、隔離病舎が満員になってしまいました。

宮崎の方も相当流行しましてね、村の中央にある井戸水を使っている者がみんなかかってしまいました。

大体その頃は、腸チフスは法定伝染病として届け出なければならなかったわけですが、「腸チフスは熱病として届け出なければならぬ、よわ

「あんな」というと、届けてくれるな  
といて頼むのです。こつちも届け  
出たりして、あとで恨まれてもいや  
だから、条件をつけたんです。

「あんなのところでもしもう一人か  
かったら届けるぞ、だから何とか一  
人でおさめるように注意してくれ  
ば届けんから」と約束したんです。

(笑い)そしてね、最初に診た若い  
男に、「陽チフスだぞ、だれか子供  
でもかかったら届けるぞ、覚悟して  
くれよ」と言ったんですが、ところ  
がその人は長いなんのって、なか  
なかなおらないで、そのうち、た  
さんの人がかかってしまつてどう  
もならなくなり、届けるにも一べん  
にまとめてやっばくあいが悪いと  
思い、今日は三人、あすは四人とや  
つたところが(笑い)、県から衛生  
課長が直接やってきました、一軒一  
軒まわつたんです。そして私が最初  
に診た若い男の所へ行つて子供を調  
べたんですが、そのとき、最初診た  
男が陽チフスで頭が丸坊主になつて  
いるんです。課長がそれを見て、

「あれはどうしたんだ、陽チフスを  
やつたんじゃないのか」というんで  
す。私は、「いやあ、熱が出ていた  
ので、ただ風をひいたんだと思つて  
いたんだが、今となつてみりゃ、頭  
もはげていることだし、陽チフス  
だったかも知れませんなあ、よわつ  
たことをしてしまつた、課長さん、  
かんにんしてください」というわけ  
です。(笑い)まあ、これがいちば  
んな大きなもので、そのあと、ときど  
きでいてましたが、今では全くなく  
なりましたなあ。

大正年間には漁師の町や村によく  
コレラがはやりましたね。ほくら中  
学時代に、魚津の駅前でいきなり、  
薬をバースとまかれたものです。そ  
ものです。

大正二年に国鉄北陸線が全通しま  
してそれをピークに町を中心とし  
交通も急激に変わり、ことに私達の  
記憶では、街通りにはぎやかに旅  
人宿が軒をつらね、神田新地と呼  
ばれたあたりを中心として、飲食店や  
風俗営業が非常にぎわいを見せて  
いたことを覚えています。記録を調  
べて見ますと、明治三十四年に、時  
の阿部県議におねがいで、当時  
まの下町から橋向町あたりにつ  
散在していた接客業者を全部まと  
めて新地をつくつてくれということ  
で、新しく認可された、いわゆる免許  
地というものができておりますが、  
泊町の、そういう別々の面でのに  
ぎやかな時代、それに伴つた遊郭の  
繁盛などについて話してあつてみるの  
も、泊の裏面史という立派な立場か  
ら無意味ではないと思ひますが、  
田中さん、何か面白い話でもありま  
せんか。

遊郭というのは時代的な言葉です  
が、泊の遊郭は、いまおっしゃつた  
ように、明治三十四年に免許地とな  
つています。一般の人は、免許地と

して魚津ではやると、ほくらが魚津  
からきたというので、泊の駅前のみ  
んな消毒されるんで、逃げまわつた  
ものです。

が悪かろうというので、いまの神田  
町辺に集めたというのを聞いてい  
ます。この免許地の繁榮というの  
は、ただ遊びの場所として利用され  
たのではなく、政治や政党的な議  
事などによく利用されたように思ひ  
ます。若い人たちが遊びのために金を使  
つたのも多いだろうと思ひますが、選  
挙運動や政治に関係のある立派な人  
達も常に利用されたものです。

それからもう一つ、泊の遊郭は、  
富山、高岡に次いでできたもので、  
魚津などはずっとあとでできていま  
す。泊の免許地の繁盛については、  
ここにおいでになる年輩の方々も若  
いときによくおいでになつたもの  
で、私らよりも、もっとくわしく知  
つておられるでしょう。(笑い)

### 隆盛を極めた風俗営業

#### 遊芸娯楽のうつりかわり

大正二年に国鉄北陸線が全通しま  
してそれをピークに町を中心とし  
交通も急激に変わり、ことに私達の  
記憶では、街通りにはぎやかに旅  
人宿が軒をつらね、神田新地と呼  
ばれたあたりを中心として、飲食店や  
風俗営業が非常にぎわいを見せて  
いたことを覚えています。記録を調  
べて見ますと、明治三十四年に、時  
の阿部県議におねがいで、当時  
まの下町から橋向町あたりにつ  
散在していた接客業者を全部まと  
めて新地をつくつてくれということ  
で、新しく認可された、いわゆる免許  
地というものができておりますが、  
泊町の、そういう別々の面でのに  
ぎやかな時代、それに伴つた遊郭の  
繁盛などについて話してあつてみるの  
も、泊の裏面史という立派な立場か  
ら無意味ではないと思ひますが、  
田中さん、何か面白い話でもありま  
せんか。

遊郭というの時代的な言葉です  
が、泊の遊郭は、いまおっしゃつた  
ように、明治三十四年に免許地とな  
つています。一般の人は、免許地と

して魚津ではやると、ほくらが魚津  
からきたというので、泊の駅前のみ  
んな消毒されるんで、逃げまわつた  
ものです。

が悪かろうというので、いまの神田  
町辺に集めたというのを聞いてい  
ます。この免許地の繁榮というの  
は、ただ遊びの場所として利用され  
たのではなく、政治や政党的な議  
事などによく利用されたように思ひ  
ます。若い人たちが遊びのために金を使  
つたのも多いだろうと思ひますが、選  
挙運動や政治に関係のある立派な人  
達も常に利用されたものです。

それからもう一つ、泊の遊郭は、  
富山、高岡に次いでできたもので、  
魚津などはずっとあとでできていま  
す。泊の免許地の繁盛については、  
ここにおいでになる年輩の方々も若  
いときによくおいでになつたもの  
で、私らよりも、もっとくわしく知  
つておられるでしょう。(笑い)

先ほど出ましたように、昔は町通  
りに各旅館があつたらしいですが、  
今は昔の紅灯が消えてさびしくな  
つております。また、時の道楽息子  
が散財して身をつぶしたのもあそ  
じゃないかと思つております。(笑  
い)

この中にも往時活躍された方も  
：(笑い)  
田中  
その頃、泊分署といわれた頃の署  
長をしてもらったのが、ここにお  
いなる森先生のおとうさんで、私  
らよりも森先生の方が、泊遊郭の  
話については、おとうさんからよく聞  
かれて知つておいでじゃないかと思  
ひます。

いやあ、そんなことは：(笑い)  
あそこに事務所があらましてね。  
「くばいいん」と言つていたんで  
す、何だかと思つていましたら  
「駆梅院」というんです。梅毒を  
駆逐する院ということ。(笑い)

### 橋立金山の採鉱夫

#### たちが金を飲みこ んで泊の遊郭へ

当時、新潟県の橋立金山が非常に  
脚光を浴びてまいりました。そこで  
働いていた採鉱夫たちが、かせいだ  
金をほとんど免許地へ落としたいとい  
うことですが、いまの新地の入口の  
酒井自転車店のところが、本村屋と  
いう大きな旅人宿だったことを記憶  
してありますが、いつも尿のさ中から  
ドンチャン騒ぎで大変なぎわいを  
見せていたのです。ウラ話の一つ  
として、金山の採鉱夫たちが、金を  
かくしてもつてくるのに、飲みこん  
できて、旅館の地下室が密室になつ

ていて、そこで出して、きれいに洗  
つて使つたというふうな話もきいて  
おりますけれども、森先生、橋立金  
山の話やら、宿屋の繁盛という話な  
どについて何かありませんか。

橋立金山が非常に栄えたという話  
は私も聞いております。私の調べた  
ところでは、明治三十二年九月に泊  
の遊郭が「泊貸座敷免許地」とい  
う名で県の指定を受けています。

当時、いまの神田地内の水田一帯  
を埋めたと、今日のような遊郭を作  
りあげたもので、その当時、十四名  
の方が営業をしているんです。その  
ときの取締りが、玉木利右エ門と、  
湯島亀次郎で、たちまち二十軒の家  
屋を新築したと聞いています。

最も隆盛したのは大正の頃で、芸  
妓が六十数名もおりましたが、それ  
からたんだん衰微し、そして終戦後  
赤線廃止になって、灯が消えたよう  
な状態になつてきているわけです。

大正七年の八月一日に、新地の創  
立記念碑を建てたんですが、先日行  
つてみますと、その碑がとりこわさ  
れて台石が残っていました。それに、  
その時の創立者の名前が刻みこまれ  
て草の中に埋もれていましたかね。

先ほど出ましたように、昔は町通  
りに各旅館があつたらしいですが、  
今は昔の紅灯が消えてさびしくな  
つております。また、時の道楽息子  
が散財して身をつぶしたのもあそ  
じゃないかと思つております。(笑  
い)

この中にも往時活躍された方も  
：(笑い)  
田中  
その頃、泊分署といわれた頃の署  
長をしてもらったのが、ここにお  
いなる森先生のおとうさんで、私  
らよりも森先生の方が、泊遊郭の  
話については、おとうさんからよく聞  
かれて知つておいでじゃないかと思  
ひます。



朝日町人事異動

Table of personnel changes including sections for (課長), (課長代理), (係長), (主任), (職員), and (委員). Lists names and positions such as 総務課長, 税務課長, 民生課長, etc.

Table of personnel changes including sections for (退職者), (消防士), (衛生検査技師補), and (退職). Lists names and positions such as 五箇庄小学校, 小中学校, etc.

新固定資産評価 審査委員に

下沢健次氏選任

三月二十四日をもって任期満了となった大井四郎固定資産評価審査委員の後任として、下沢健次氏(東草野 五〇才)が選任されました。(総務課)

青年団

念願の団旗誕生

朝日町連合青年団長年の和を象徴するため、八つの光(八校下団)に輝く日輪(和)ときびしさ(北アルプスや荒海)と稲穂を組み合わせてデザインした、新しい感覚の力作である。

団長に小川茂君

連青役員・活動方針

昭和四十四年度役員

- List of youth group members and officers including 団長 小川茂, 副団長 入江久, 事務局長 森野稔, etc.

新調された連青团旗



第七回城山美化大行進

朝日町連合青年団では、四月二十日(日)午前九時から城山美化大行進を行います。これは明るく美しい町づくりのために青年団が例年行なっているもので、一般の参加者をお待ちしています。(朝日町連合青年団)

# 農事教室



## 五割省力と

## 本年農業の考え方

富山県における農家所得は、待望の百万円を突破した。

農家所得の半分は農業所得で占めているのであるが、本年の米価については、値上がりどころか、反対に値下がりするとの声すら出ている現況である。

我々農家も、文化的生活を営むためには、所得の向上を計画していかねばならない。

そのためには、農外所得の伸びに期待する以外に道はない。

## 山火事から資源を守ろう!!

＝野火を使うときは事前に届出を＝

日増しに暖かくなり、北陸特有のフェーン現象とともに、火災の多い季節になりました。

最近特に山火事が多く、大事な資源をちよつとした不注意から灰にするというもったいない事例が各地に出ています。

これからは、特に、行楽シーズンに加えて農繁期となり、山林の火入れや野火など、忙がしくなることと思いますが、火を使用される時は十分注意してください。

- ① 山へ遊びに行ったり山菜取りに行った時など、たばこの吸いがらなど、消さないで不用意に捨てない。
- ② 山でたき火などしたら、帰るときには必ず消してくること(土をかけるか水筒の水で)
- ③ 山林に火入れや、野外で火を使う時は、事前に消防署へ届けてから行なうこと(電話届出も可)
- ④ 火入れをしたら終るまで現場を離れないこと。
- ⑤ 風の強い日や火災警報の発令された時は禁止されています。

(消防署)

待する以外に道はない。

このようなことからして、稲作に要する労力の現況はどうか、省力でできる点はないかを反省する必要がある。本県稲作の基本方針である五割省力は、各農家がどのように工夫しているであろうか。

昭和二十五年を起点として、稲作労力の変化をみると、まず、男の労働から女の労働へと移行していることがわかる。労働時間についても、男女の計で、昭和二十五年の一反歩当り二〇八時間が昭和四十二年には一三八時間へと減少している。

農家の皆さんはどのように働いておられますか。

無理なききでは困ります。二月号(第一六二号)でも述べたように、集団が共同でないと省力化は困難です。特に病虫害の防除は共同の力でないと効果がありません。

昨年増収の要因は、農家の技術の向上と努力の賜物であることはい

うまでもありませんが、そのうえに災害がなかったことを銘記して、本年も病虫害の災害を最少限度におさ

えることができるよう、共同で防除し、省力化に努力すべきでしょう。本年こそ、むだ、無理のない稲作りができるよう、一段の工夫が大切です。

朝日町も、小川以東の五農協が合併して新しい農協が発足するように農家個々も協同しあいながら、時勢に即応した省力稲作を考えてください。(入善農業改良普及所朝日支所)

## 野鳥を保護しよう

五月十日から愛鳥週間

五月十日から一週間、愛鳥週間(バードウィーク)が始まります。

野鳥を捕えないようにし、森林を保護し、巣箱をかけてやったり、餌台を作ったりしたいものです。ヒナや卵を取ることは一番いけないことです。野鳥を自然のままに保護し、人間となかよくすることが本

当の愛鳥です。

みんな可愛がり、いつまでも、野山で小鳥のさえずりが聞かれるような郷土にしたいものです。(産業課)

## 役場の支払いに

### 口座振替制度

新年度から、役場の支払事務を合理化するため、従来の小切手による支払いを改めて、債権者の方にも便利な口座振替の制度を設けました。

したがって、請求される場合には、役場規定の請求伝票に、振替先名(銀行、農協、信金等)及び口座番号を記入すれば、支払日に自動的に自分の口座へ入金することになり、役場から請求者の方に支払通知書を送りますので、支払いの明細がよくわかることになりました。

なお、特に現金払いを希望される方は、請求するときあらかじめ申しれば、現金払い用の支払通知書を送りますから、指定された金融機関に持参して受取っていただくこととなります。(出納室)



## し尿の汲取 手数料改定

改定日 四月一日から  
改定額 一八〇円について二円五〇

銭(従来は一九円)

現在手持ちの券については、四月一日以降において、売捌所(従来と同じ)で新しいものと交換してください。

また券の種類は次の二種類です

一八〇円券(二石券)

一八〇円券(二斗券)

(民生課)

## 泊病院ひ尿器科

### 診療日変更案内

泊病院では、昨年九月から新しくひ尿器科を開設し、毎週水曜日を診療日としてきましたが、四月四日から、毎週火曜日と金曜日の午後二回を診療日に変更しました。(泊病院)

## 四月の人権身上相談

日時 四月二十一日(月)  
午後一時から三時まで  
場所 朝日町職工会館  
(総務課)

## 四月十六日に桜まつり

恒例の桜まつりは、四月十六日(水)午後一時から小丸山公園で開催されます。  
きれいだころの手踊りなど、盛り山の内容で、また、夜桜観賞にボンボリ灯なども用意してあります。  
(商工会)

編集兼発行	朝日町役場
印刷所	両越印刷
送料	六六円
定価	六六円